



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 サンデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6444 URL <http://www.sanden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木内 和宣

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長

(氏名) 丸山 英之

TEL 03-3833-1470

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	108,967	0.4	1,070	△74.2	1,266	△73.4	1,225	△73.3
23年3月期第2四半期	108,509	16.4	4,151	334.1	4,754	205.8	4,594	729.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,687百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 925百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.99	—
23年3月期第2四半期	33.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	206,462	45,503	20.3	308.02
23年3月期	207,925	49,329	22.0	335.11

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 41,979百万円 23年3月期 45,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00			
24年3月期(予想)			—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	0.2	2,500	△53.5	3,500	△45.1	3,000	△50.7	22.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正の詳細につきましては、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P3.「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	140,331,565 株	23年3月期	140,331,565 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,044,500 株	23年3月期	4,037,074 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	136,290,954 株	23年3月期2Q	136,304,676 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき合理的と判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおりますので、実際の今後の業績は、様々な要因の変化によって、記載の予想とは大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては[添付資料]P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国でインフレ進行と金融引き締めにより景気がやや減速したものの、新興国全体では引き続き堅調な成長が続きました。一方、米国経済は失業率の高止まりの中で景気回復のペースが遅く、欧州経済は財政問題の深刻化を背景とした金融懸念により景気の減速感が強まるなど、先行き不透明な状況が継続しています。

国内経済においても、東日本大震災の影響から徐々に回復の兆しがみられたものの、世界経済の減速懸念と急激な円高・株安の進行により先行きの不確実性が増しています。

このような事業環境の中、当社は将来の成長に向けた活動を積極的に行ってまいりました。売上高は、震災による車両メーカーの生産減等の影響を受けながらも、ほぼ前年並みの水準を確保することができました。しかしながら急激な円高、原材料の高騰、震災による調達・供給に係るコスト増加等の影響を受けた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は108,967百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は1,070百万円（前年同期比74.2%減）、経常利益は1,266百万円（前年同期比73.4%減）、四半期純利益は1,225百万円（前年同期比73.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

A. 自動車機器事業

自動車機器事業においては、3月に発生した東日本大震災の影響による日系メーカーの車両生産減の継続や、米州市場における自動車市場の回復の遅れがありましたが、欧州市場における新商権の獲得や、中国・インド等の新興国の市場拡大の効果により、売上は前年同期に比べ増収となりました。

利益面では、継続的に原価低減努力を続けてまいりましたが、震災による調達・供給に係るコスト増加、原材料価格の上昇、為替の悪化等により、前年同期に比べ減益となりました。

その結果、売上高は71,848百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は1,650百万円（前年同期比56.5%減）となりました。

B. 流通システム事業

店舗システム事業においては、震災や台風による災害を受けた顧客への事業復興支援、電力供給の制約に対する積極的な省エネ提案等を通じて顧客の信頼を獲得し、新規ビジネスを獲得いたしました。その結果、前年同期に比べ、増収となりました。

ベンディングシステム事業においては、震災による影響を受けたものの、国内市場で顧客への積極的な提案活動を行ってきたことにより、前年同期に比べ増収となりました。

利益面では、継続的な生産性向上及び事業体質強化への取り組みを行ってまいりましたが、成長のための先行的な投資や原材料の高騰等により、前年同期に比べ減益となりました。

その結果、売上高は33,545百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は258百万円（前年同期比70.0%減）となりました。

C. その他

地球環境保護の為、自然系冷媒使用の効率給湯器エコキュートのグローバル展開、環境技術を活用した応用製品を開発し新規市場の開拓に積極的に投資を行う等、新たな事業の育成に注力しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

A. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,462百万円減少し、206,462百万円となりました。

〔資産〕

流動資産は、3,260百万円増加し、124,188百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が2,428百万円減少した一方、現金及び預金の増加1,539百万円、たな卸資産の増加3,075百万円、および未収入金が1,572百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、4,723百万円減少し、82,274百万円となりました。これは、年金資産の分別管理を狙いとした退職給付信託への拠出3,655百万円等により、投資その他の資産が4,241百万円減少したこと等によるものです。

〔負債〕

流動負債は、838百万円減少し、105,963百万円となりました。これは、短期金融債務が1,855百万円増加した一方、未払金が1,438百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、退職給付引当金が3,799百万円減少しましたが、長期金融債務が7,306百万円増加したこと等により、3,202百万円増加し、54,996百万円となりました。

その結果、負債合計は2,363百万円増加し、160,959百万円となりました。

〔純資産〕

純資産合計は、当第2四半期連結累計期間における純利益1,225百万円による利益剰余金の増加があった一方、為替換算調整勘定が4,071百万円減少したこと等により、3,825百万円減少し、45,503百万円となりました。

B. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,542百万円増加し、20,069百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費4,455百万円、仕入債務の増加361百万円を主な原因として増加しましたが、たな卸資産の増加5,560百万円、売上債権の増加372百万円を主な原因として減少し、差引4,607百万円（前年同期比12,477百万円減）の資金を使用しました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、退職給付信託への拠出のため退職年金基金から3,655百万円を払戻しましたが、有形固定資産の取得5,237百万円を主な原因として資金を使用したことにより、差引2,561百万円（前年同期比368百万円の支出増）の資金を使用しました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金11,942百万円増加しましたが、長期借入金の返済4,756百万円を主な支出として差引9,300百万円（前年同期比13,840百万円の収入増）の資金を創出しました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想（A） （平成23年5月11日公表）	230,000	6,000	7,500	6,500
今回発表予想（B）	217,000	2,500	3,500	3,000
増減額（B－A）	△13,000	△3,500	△4,000	△3,500
増減率（％）	△5.7	△58.3	△53.3	△53.8

第3四半期以降の当社を取り巻く事業環境は、震災影響からの回復の兆しが見られるものの、欧州における財政・金融問題に端を発する世界経済の減速による影響が懸念されます。

このような環境下、当社は中期成長に向けた諸活動に全社一丸となって取り組んでおりますが、歴史的な円高進行を受けた想定レートの見直し影響に加え、10月に発生したタイの洪水被害の影響等を踏まえて、平成24年度3月期の通期業績予想を修正いたします。

業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートにつきましては、金融市場が不安定な状況で円高水準が続くと想定し、1米ドル75円、1ユーロ105円としております。

また、タイの洪水による事業活動に与える影響については、現時点で想定しうる範囲内で織り込んでいます（10億円程度）。

被災した工場や在庫にかかる損失は合理的な算定が困難ですが、保険が付保されており、大きな影響はないと見込んでおります。今後、被害状況が明らかになり、業績の変動が見込まれる際は、速やかに開示します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,538	20,078
受取手形及び売掛金	56,970	54,541
商品及び製品	16,926	18,932
仕掛品	6,700	7,054
原材料	7,996	8,243
その他のたな卸資産	2,008	2,476
繰延税金資産	1,785	1,749
未収入金	2,708	4,280
未収消費税等	4,625	3,036
その他	3,471	4,630
貸倒引当金	△803	△836
流動資産合計	120,927	124,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,473	19,380
機械装置及び運搬具（純額）	15,536	14,697
工具、器具及び備品（純額）	2,464	2,513
土地	19,017	18,534
リース資産（純額）	4,230	5,080
建設仮勘定	4,036	4,436
有形固定資産合計	65,760	64,643
無形固定資産		
のれん	141	115
リース資産	186	163
その他	973	1,656
無形固定資産合計	1,301	1,936
投資その他の資産		
投資有価証券	14,634	13,992
退職金年金基金	3,656	—
繰延税金資産	376	342
その他	1,459	1,550
貸倒引当金	△192	△191
投資その他の資産合計	19,935	15,694
固定資産合計	86,997	82,274
資産合計	207,925	206,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,036	43,563
短期借入金	22,785	24,694
1年内返済予定の長期借入金	10,044	10,045
1年内償還予定の社債	8,600	8,600
未払金	6,463	5,025
リース債務	1,251	1,196
未払法人税等	541	524
賞与引当金	3,198	2,304
売上割戻引当金	273	358
製品保証引当金	1,590	1,526
繰延税金負債	20	14
その他	7,996	8,108
流動負債合計	106,802	105,963
固定負債		
長期借入金	40,479	46,745
リース債務	2,182	3,223
繰延税金負債	656	585
退職給付引当金	6,643	2,843
役員退職慰労引当金	246	181
環境費用引当金	693	619
負ののれん	339	259
その他	551	537
固定負債合計	51,794	54,996
負債合計	158,596	160,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	4,453	4,453
利益剰余金	39,381	39,585
自己株式	△2,191	△2,194
株主資本合計	52,681	52,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	270
繰延ヘッジ損益	△149	△130
為替換算調整勘定	△6,971	△11,042
その他の包括利益累計額合計	△7,008	△10,903
少数株主持分	3,655	3,523
純資産合計	49,329	45,503
負債純資産合計	207,925	206,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	108,509	108,967
売上原価	87,691	89,730
売上総利益	20,818	19,236
販売費及び一般管理費	16,666	18,166
営業利益	4,151	1,070
営業外収益		
受取利息	45	23
受取配当金	91	77
為替差益	308	—
持分法による投資利益	990	1,066
その他	487	568
営業外収益合計	1,923	1,736
営業外費用		
支払利息	1,064	1,006
為替差損	—	336
その他	256	197
営業外費用合計	1,321	1,540
経常利益	4,754	1,266
特別利益		
固定資産売却益	28	59
投資有価証券売却益	—	43
貸倒引当金戻入額	89	—
受取保険金	67	837
為替換算調整勘定取崩益	910	—
その他	156	—
特別利益合計	1,252	940
特別損失		
固定資産処分損	67	134
投資有価証券評価損	213	334
市場対策費用	198	—
その他	19	26
特別損失合計	498	495
税金等調整前四半期純利益	5,508	1,711
法人税等合計	642	534
少数株主損益調整前四半期純利益	4,866	1,176
少数株主利益又は少数株主損失(△)	272	△48
四半期純利益	4,594	1,225

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,866	1,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△411	153
繰延ヘッジ損益	194	18
為替換算調整勘定	△3,120	△2,672
持分法適用会社に対する持分相当額	△603	△1,363
その他の包括利益合計	△3,941	△3,864
四半期包括利益	925	△2,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	729	△2,669
少数株主に係る四半期包括利益	195	△17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,508	1,711
減価償却費	4,615	4,455
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△599	△841
退職給付信託設定額	—	△3,655
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△99	110
受取利息及び受取配当金	△137	△101
支払利息	1,065	1,006
持分法による投資損益 (△は益)	△990	△1,066
投資有価証券評価損益 (△は益)	213	334
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△43
受取保険金	△67	△837
為替換算調整勘定取崩益	△910	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,820	△372
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,878	△5,560
未収入金の増減額 (△は増加)	△255	△274
未収消費税等の増減額 (△は増加)	183	1,177
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,464	361
未払金の増減額 (△は減少)	△13	△950
その他	2,538	460
小計	8,817	△4,086
利息及び配当金の受取額	271	509
利息の支払額	△1,081	△1,025
保険金の受取額	552	446
法人税等の支払額	△689	△451
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,870	△4,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,253	△5,237
有形固定資産の売却による収入	119	147
無形固定資産の取得による支出	△117	△808
投資有価証券の売却による収入	—	43
退職年金基金からの払戻額	79	3,655
その他	△21	△361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,193	△2,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,737	3,790
長期借入れによる収入	795	11,942
長期借入金の返済による支出	△5,937	△4,756
リース債務の返済による支出	△820	△651
配当金の支払額	△679	△1,021
少数株主からの払込みによる収入	375	—
その他	△8	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,539	9,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	△716	△504
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	420	1,627
現金及び現金同等物の期首残高	24,100	18,526
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△84
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,521	20,069

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	自動車 機器事業	流通シス テム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	71,668	32,648	104,317	4,192	108,509	—	108,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	71,668	32,648	104,317	4,192	108,509	—	108,509
セグメント利益又は損失(△)	3,789	863	4,652	△500	4,151	—	4,151

(注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	自動車 機器事業	流通シス テム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	71,848	33,545	105,394	3,572	108,967	—	108,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	71,848	33,545	105,394	3,572	108,967	—	108,967
セグメント利益又は損失(△)	1,650	258	1,909	△838	1,070	—	1,070

(注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

タイにおける洪水により、連結子会社SANDEN THAILAND CO., LTD.（アユタヤのロジャナ工業団地に所在）が、工場建屋の浸水による生産設備及びたな卸資産等の被害を受け、現在操業を停止しております。洪水による損害額については現在調査中です。